

31 Lesson 9 (3)

情報を加えて詳しく説明しよう

英語監修・出演 阿野幸一

きょうの目標 情報を加えて詳しく説明することができる (3)

- 関係代名詞 that
- 接触節

文法・表現 関係代名詞 (目的格) と接触節

関係代名詞 that

次の文を見てみましょう。

This is the compass.

(これがそのコンパスです)

目の前にコンパス (方位磁石) を出されてこの文を聞いても、コンパスであることは目で見てすぐに理解できるため、なぜこの文を言っているのかわかりませんね。つまり、この文だけでは十分な情報を持つ文にはなっていません。そこで、**the compass** に、どのようなコンパスであるかの情報を加えることで意味のある文になります。

では、このコンパスがどのようなコンパスなのかを考えてみましょう。番組で鳥縁屋に置いてあったコンパスは、以前に宿泊した写真家のお客さんが置き忘れていったものでした。これは、次の文のように表現することができます。

The photographer left the compass at the hotel.

(写真家がコンパスを宿に忘れていきました)

では2つの文を並べて比べてみましょう。

This is the compass.

The photographer left the compass at the hotel.

どちらの文にも **the compass** が使われていることがわかります。英語では、すでに一度話題にのぼっている語は代名詞で置き換えるため、2つ目の文の **the compass** を **it** で置き換えて次のように表します。

This is the compass.

The photographer left it at the hotel.

この1つ目の文にある **the compass** がどのようなものであるかを、2つ目の文で説明しています。つまり、**the compass** を先行詞として関係代名詞を使って補足説明をすること

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

ができます。the compass はものなので、関係代名詞の that を使って次のように説明します。その際、that は2つ目の文の代名詞 it の役割をしているため、that 以下の文でもともと□のところにあった it はなくなっています。

This is the compass.

↑ 情報を後ろから追加 (どんなコンパスかと言うと)

that the photographer left □ at the hotel

その結果、次のような文になります。

⇒ This is the compass that the photographer left at the hotel.

(これは、写真家が宿に忘れていったコンパスです)

接触節

上記の文を、関係代名詞の that を使わずに、次のように表現することができます。

This is the compass the photographer left at the hotel.

では、この文の the compass と the photographer left の関係を見てみましょう。

The photographer left the compass. (写真家は、そのコンパスを忘れていきました)

the compass the photographer left (写真家が忘れていった コンパス)

このように「説明される名詞」と、「説明する文の語順」を入れ替えることができるときには、関係代名詞を使わずに、そのまま後ろから文で名詞を修飾して説明することができます。このような文を接触節と言います。

次の例でも確認しましょう。

I recommend the food. (私はその 食べ物をすすめます)

the food I recommend (私がすすめる 食べ物)

「これが私がすすめる食べ物です」と言うときには、次の2通りの言い方があります。

This is the food I recommend. (接触節を使って)

This is the food that I recommend. (関係代名詞を使って)

あの先生のこの話!



日本語と英語の語順の違い

日本語で単語を説明するときには、最初に説明する文や語句を述べてから、最後に説明される単語を言います。

私がおすすめる **食べ物**



しかし英語では、文（主語と動詞を含むもの）が単語を説明するときには、必ず後ろから修飾して説明します。

the food I recommend



英語で話をするときには、まず **the food** のように単語を先に言っておいて、それから、それがどんな食べ物かの説明を後で付け加えればよいので、とにかく話し始めることが大切です。

